

第1回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 要旨

- 1 日 時 令和6年8月22日(木) 10時00分～12時00分
- 2 場 所 当別町役場 1階 大会議室
- 3 出席委員 別紙委員名簿のとおり
- 4 町出席者 事務局：乗木部長、星野課長、永井主幹、高田係長、田中主任
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議要旨

【議題】

(1) 委員長の選任について

事務局より提案、承認により決定。

委員長 下段委員

(下段委員長)

ただいま承認されました下段でございます。現在、商工業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いておりますことから、少しでもこの状況を打破するために、まちづくり・人づくりを進めていきたいと思っております。

(2) 令和6年度スケジュールについて

資料1に基づき、事務局 星野課長より説明。

(3) 第2期総合戦略の進捗状況について

資料2-1～資料2-3に基づき、事務局 星野課長より説明。

●意見・質疑等

(川村副委員長)

北海道医療大学の話もしていただいたが、農業分野においても「水田活用の直接支払交付金」の今後のプランが示されておらず、また、食料・農業・農村基本法は成立したが、基本計画はこれから策定となるなど、JAとしても今期中期計画を策定するにあたり、示されていないため、大変苦慮している。

(事務局)

令和7～8年度中に関係団体と協力して、プロジェクト内で必要があれば盛り込んで改訂版を策定していきたいと考えている。

(川村副委員長)

食糧農業農村基本計画は、もうそろそろ定まると思うが、水田活用の直接支払交付金については何も決まっていないので、現場が困っている。土地利用についても政策によって左右されてしまう。

(佐々木委員)

おそらく令和9年度から人口ビジョンも含めて見直す中、それまでの経過措置として令和7～8年度は改訂版で行くということだと思うが、第2期の改訂版はどのくらい改訂するのか。

(事務局)

現在、検討中だが、北海道医療大学の移転は各分野において影響が大きいと思うので、関係するプロジェクトの見直しを想定しているが、具体策までは明記できないため、移転に向けた検討をイメージしている。

(佐々木委員)

これまでの取り組みはしっかりとやっていくかと思うが、生産年齢人口が2割ぐらい減少している状況にあり、今後、さらに顕著となってくるので、施策にメリハリをつけなければ厳しいとか、交流人口まで拡大するとか、色々あると思うが、そういったところを議論しつつ、微修正していくイメージか。

(事務局)

概ねそのようなイメージになると思います。戦略自体を大幅に見直すことは難しいですが、方向性として強弱を付ける部分については、ある程度盛り込んでいければと考えている。

(下段委員長)

長期計画は重要だが、現時点で商工業は先が見えない、当別町においては事業をやめていく方が5年以内に出てきてしまうと感じていて、また、新たに起業する方も少ないと思うので、これからは商工会やJA、行政と一緒にまちづくりをやっていかないと人もいなくなるので、町を活用することもできなくなってくるので進めていきたいと思っている。

【その他】

(事務局)

当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に対する意見や提言につきまして、皆様から提出していただきたいと考えており、あらためて案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。集約した意見等につきましては、第2回推進委員会において、お諮りさせていただきます。日程につきましては別途調整させていただきます。

(杉村委員)

北海道総合計画を策定しました。概要につきましては、めざす姿としては、「北海道の力が日本そして世界を変えていく」、「一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る」としています。政策展開の基本方向につきましては、「1 潜在力発揮による成長」、「2 誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心なくらし」、「3 各地域の持続的な発展」としています。

また、皆様に北海道総合計画を知っていただくため、北海道で出前講座を行っており、5人以上が集まっただけだと、出前講座を開催していきます。

(笠松委員)

まちづくりを支援できるメニューもありますので、活用できるものがあれば活用していただきたい。

【閉会】

(下段委員長)

以上をもちまして、令和6年度第1回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。